

ひまわり



令和2年2月17日(月)

よし だ しょういん 吉田松陰に学ぶ



3年生は、卒業までの登校日が19日間となりました。1・2年生の終業式までの登校日は25日間です。3年生の約半数は、すでに進路先が決められました。進路先が決まった人は、これから入試などに臨む人のことを考え、学校生活での良い雰囲気づくりに協力してください。とりわけ、授業については、進路先の決まった人も義務教育最後の授業まで真剣に取り組みしましょう。それが心豊かで絆を大切にする71期生の行動です。

日本の国は、明治維新を境に大きな変貌をとげることになります。江戸から明治への時代の移り変わりを後押ししたのは、薩摩・長州・土佐・肥前のそれぞれの藩に属する人たちでした。薩摩の西郷隆盛、長州の木戸孝允、肥前の江藤新平などは皆さんも知っていることでしょう。また、土佐の坂本龍馬は、今でも多くのファンがいる維新の立役者です。司馬遼太郎氏の「竜馬がゆく」は、歴史小説として今でも根強い人気があります。これら以外にも、維新に関わった多くの人物が存在します。歴史に興味のある人は、詳しく調べてみてください。

ところで、長州には、維新の精神的指導者であり、私塾「松下村塾」を運営した吉田松陰という人物がいます。彼のもとで学んだ多くの若者が、明治維新では大きな働きをしました。松陰を表すうってつけの言葉は「言行一致」。30歳で、政治的謀略により死刑になるまで、常に学び、学んだことを行動に移し、理想の実現を追い求めた人でした。松陰は亡くなるまでに、多くの言葉を残しています。その中で、学びと時間の大切さについて記したものを現代語訳で紹介します。

「一日に何か一つを学べば、一年で三百六十の知識を得ることができる。一夜で一時間さぼれば、百歳まで生きたとして三万六千時間、じつに四年余りの時間を失うことになる」

3年生は卒業までの日々を大切に、義務教育9年間の学びを卒業後の学びにつなげてください。1・2年生は、進級までの日々を、次の学年への助走と考え、新入生から「さすが」と言われる上級生となれるよう、最高の3学期のしめくくりをしてください。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>